

# 闘虎

No. 64

## Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
令和3年 秋季号



© 布施鋼治

## 櫻井つぐみが世界の頂点へ飛ぶ！

### 2021世界選手権大会

10月2日～10日、ノルウェー・オスロにおいて「世界レスリング選手権大会」が行われた。6月の全日本選抜で優勝し、日本代表の座を勝ち取った女子55kg級・櫻井つぐみ（育英大3年）が、世界デビュー。櫻井は、初の世界の舞台でも力強く羽ばたき、1回戦はウクライナの選手に10-4、2回戦、ポーランドの選手に3-0、準決勝はRWFの選手に6-2で勝利し決勝進出。決勝では、ドイツの選手を10-0のTFオールで仕留め、堂々初優勝を果たした。櫻井は父が監督を務める高知南高出身で、父は高松北高、群馬大学で活躍した櫻井優史さん。青春時代を過ごした思い出の地に愛娘を送り、その愛娘は、いきなり世界の頂点まで羽ばたいた。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 金子博 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会



館林高校レスリング部は、一九五〇年創部、過去には、インターハイ団体戦三度優勝、五輪金、銅メダリスト、世界選手権王者を輩出している歴史と伝統がある部活動です。現在は、三年生五人、二年生四人、一年生六人の計十五人で日々練習に励んでいます。最近は、新型コロナウイルスの影響で、限られた短い練習時間の中で、一人ひとりが試合で勝つためにどうしたらいいのかを考え、工夫をしています。また、顧問である金子将士先生に加え、副顧問の板垣光生先生の熱心なご指導おかげで、確実に一步ずつ強くなっています。

週末には、積極的に他校と合同練習を行い、切磋琢磨し合うことで技術や体力の向上を図っています。また、休日には大学生や社会人のOBが都合をつけて練習に来てくださり、充実した練習ができます。

目標は、常に全国優勝です。しかし、最近はよい成績を残せていないのが現状であるので、今まで以上に練習精進し、我々を支えてくださる先生方や保護者など、多くの方々に感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって走っていきたいと思います。

## SCHEDULE

### ■都市交流親善大会 中止

### ■天皇杯全日本 レスリング選手権大会 12月16日（木）～19日（日） 駒沢オリンピック公園体育館

### ■館林市スポーツ少年団 クラブ交流大会 1月23日（日） 館林市城沼総合体育館

### ■関東高校選抜大会 2月5日（土）・6日（日） 山梨県小瀬スポーツ公園

### ■関東甲信越少年 少女レスリング大会 2月27日（日） 館林市城沼総合体育館



秋元 浩一さん（松江市・50歳）  
「思い出の一葉」

感謝の気持ちを忘れずに  
夢に向かって走っていく

二年 主将 上村 朋也

□この写真は昭和63年、私が関学大に全国グレードに続き3冠を達成しました。私は中学時代は柔道でしたが、指導者に関学レスリング部OBがいて、その先生がレスリングを勧めてくれました。関学の練習は厳しく苦ししく、年に2日しか休みがなく、楽しかった思い出はありません。ただ、スパーゲリングや試合で一人ひとりやつけていく、それにワクワク感を感じていました。私は島根県の人と結婚したため、島根県に住んでいますが、自分のレスリングの経験や考えがどこまで通用するのか試してきました。「リアンレスリングクラブ」を立ち上げました。一から教えることの難しさを感じながら、大人になつて、リアンに入つてよかったですと思つてくれるよう、指導に励んでいます。

## クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第64回  
館林高校

感謝の気持ちを忘れずに  
夢に向かって走っていく

「思い出の一葉」

□この写真は昭和63年、私が関学大に全国グレードに続き3冠を達成しました。私は中学時代は柔道でしたが、指導者に関学レスリング部OBがいて、その先生がレスリングを勧めてくれました。関学の練習は厳しく苦ししく、年に2日しか休みがなく、楽しかった思い出はありません。ただ、スパーゲリングや試合で一人ひとりやつけていく、それにワクワク感を感じていました。私は島根県の人と結婚したため、島根県に住んでいますが、自分のレスリングの経験や考えがどこまで通用するのか試してきました。「リアンレスリングクラブ」を立ち上げました。一から教えることの難しさを感じながら、大人になつて、リアンに入つてよかったですと思つてくれるよう、指導に励んでいます。

附高3年の時、京都国体決勝前、米山先生が私に作戦を耳打ちしているところです。決勝では勝ち、JOC、

# 石井亜海 一年生チャンピオンに輝く！

# 全日本学生選手権

11月4～5日、山口県・キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターにおいて「全日本大学レスリング選手権大会／男子グレコローマン・女子」が行われた。ケガにより長期間、別メニューだった石井亜海（OSAIAI学院／育英大1年）が復帰後、初の大会となつたインカレで、ブランクを感じさせない動きを見せ、いきなり優勝。一年生チャンピオンに輝いた。

入賞者は次のとおり。



マットに帰ってきた石井亜海！次は天皇杯！

【女子】 ◇50kg級 ③櫻井はなの（育入賞者は次のとおり）

**団体戦名勝負数え歌！  
重量級は大谷文制す！**

11月6～7日、館林商工高校体育館において「群馬県高校レスリング新人戦」が行われた。団体戦で「名勝負数え歌」を繰り広げる館高と市太田高は、昨年新人戦が4－3で市太田、今年県総体は5－2で館高、インターハイ予選は4－3で市太田、今大会は5－2で館高が勝利した。

団体戦の順位と優勝者は、次のとおり。

|  |
|--|
| <p><b>太田）</b> ◇ 55 kg級 山口想成（館林）</p> <p>◆ 60 kg級 佐々木海人（市太田）</p> <p>◆ 65 kg級 山田康介（館林） ◇</p>                                  |
| <p>級 上村朋也（館林） ◇ 80 kg</p>  |
| <p>級 和田滉二郎（館林） ◇ 92 kg級</p>  |
| <p>小林靖弥（館林） ◇ 125 kg級 大</p>  |
| <p>谷丈（前西）</p>  |
| <p><b>【女子】</b> ◇ 軽量級 原口真優（市太</p>   |
| <p>田） ◇ 中量級 長井美緒（西邑楽）</p>  |
| <p><b>麒麟児健在銅メダル！</b></p>   |
| <p><b>原田も安定の第3位！</b></p>   |
| <p><b>全日本大学グレコ選手権</b></p>  |
| <p>10月9～10日、J:COM末広体育館<br/>           （泉佐野市民総合体育館）において<br/>           「文部科学大臣杯全日本大学グレコ<br/>           ローマン選手権大会」が行われた。</p> |



県王座を奪回した館林高校！関東選抜で勝負！

私は5歳の時に、3歳上の姉と一緒に明和クラブに入りました。レスリングをやってみて思うことは、難しいスポーツだなということでした。小3の時に全少3位になれましたが、本当にやりがいを感じ始めたのは、中学生になつてからです。その時やつていた、練習が終わつてからの30分～1時間の追加のスパーリングが、本当に苦しかつたです。そのため、レスリングをやって、「何事に対してもあきらめない強い気持ち」が身に付いたと思います。これから目標は、同じ明和クラブだった原口真優選手（市太田高1年）に、自分のレスリングを貫き、勝つことです。



西邑楽高校  
横尾 瑠衣さん（1年）

**重量級が存在感示す！  
対比地と大原が3位！  
全日本学生選手権**

**佐藤陽が練習の成果！  
ぐんま唯一のメダル！**  
**全国少年少女大会**

選手が表彰台に上がった。  
△ 92kg級 ③ 大原和也（育英大）  
△ 125kg級 ③ 對比地旭陽（山梨）

佐藤陽が練習の成果!  
ぐんま唯一のメダル!  
全国少年少女大会

11月6～7日、熊本市民総合体育馆において「第38回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。2年ぶりに開催された同大会は、「

大会も第3位入賞を果たした。  
3位以内入賞者は次のとおり。  
◆ ◆ ◆  
◇ 77kg級 ③原田真吾（育英大）  
82kg級 ③玉岡颯斗（早稲田大）  
◆ ◆ ◆



# 櫻井 つぐみ 選手 (育英大学)

海外に行けなく、外国人選手との試合が全くできていなかったので、世界選手権前は、その不安がありました。私の階級は、吉田沙保里さんがずっとメダルを獲ってきた階級なので、絶対負けられないという気持ちで臨みました。決勝戦、思ったより点差が開いた展開となり、安心しました。国旗を持ってマットを走ったときは、最高の気分でした。これから目標は、パリ五輪出場です。

**阿部光が最優秀選手！  
育英大もメダル量産！**



火の国熊本のマットで戦う佐藤陽（OSA）！

## 小柴監督が再び凱旋！ 故郷に錦を飾る指導---

光（中央大）③中里優斗（同）  
 ◇125kg級③對比地旭陽（山梨学院大）

【新人戦グレード】 ◇55kg級③増田壮兼（育英大）  
 ◇60kg級③高橋一輝（日体大）  
 ◇87kg級②岩井知史（明治大）  
 ◇130kg級②對比地旭陽（山梨学院大）

館高時代、国体で優勝し、「おおたの麒麟児」命名者の小幡洋次郎氏の母校・早稲田大へ進んだ玉岡颯斗が第3位に入賞。また、主要大会でコンスタントに入賞している育英大の原田真吾が今大会も第3位入賞を果たした。

3位以内入賞者は次のとおり。

| ◆ 77kg級 | ③ 原田真吾（育英大）  |
|---------|--------------|
| 82kg級   | ③ 玉岡颯斗（早稲田大） |

10月13～14日、駒沢公園体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。最重量級に出場した対比地旭陽（大泉高一・山梨学院大1年）が第3位入賞を果たし、群馬県の2



世界トップレスラーの技術を次々と披露！

参加したOSAと明和クラブの子どもたちに、「全国一の監督」の技術指導をしてくれた。